

ボランティアへだご汁を振る舞う「うとコレ」の皆さん

10/17(土) 復旧・復興を支えるボランティアの皆さんへ 感謝を込めて「だご汁」を振る舞いました

宇土市ボランティアセンターで活動してくださっている災害ボランティアの皆さんへ、感謝の気持ちを届けるため、地域団体「うとコレ」の浦本晴美さん、田代昭子さん、植田明依さんの3名が、手作りの柚子胡椒を添えた熊本の郷土料理「だご汁」を振る舞いました。当日は、県内外から駆け付けた約20名のボランティアの皆さんや、運営支援に入られている県外の社会福祉協議会職員の皆さんに提供されました。熊本市内から5回目の参加となる男性は、「肌寒くなってきた季節に、温かく柚子胡椒が効いただご汁がとても美味しかった。午後も頑張れそう」と笑顔を見せました。心のこもったおもてなしに、会場には温かな笑顔が広がりました。



入賞したうとスポーツクラブ6年生男子チームの皆さん

10/17(土) USC(うとスポーツクラブ) リレーチーム結成2カ月で入賞

10月17日㈯、えがお健康スタジアムにて「第52回熊日学童オリンピック陸上競技大会」が開催され、USC(うとスポーツクラブ)が出場。6年生男子チームのリレーチームが日頃の練習の成果を発揮し、結成から2カ月で8位入賞を果たしました。

【6年男子　4×100mリレー】

記録55秒37
第1走者 藤本 優真(宇土小)
第2走者 稲田 啓生(網津小)
第3走者 小﨑 萠生(花園小)
第4走者 磯川 直哉(花園小)



感謝状を手にする藤井さん(右から2人目)、中熊さん(右から3人目)

10/22(木) 退任の人権擁護委員に法務大臣感謝状 光井市長が市民を代表して謝辞

今秋、人権擁護委員を退任した中熊照美さん(66)、藤井敬夫さん(57)の2人に法務大臣から感謝状が贈られ、市役所で伝達式がありました。盛武美智子・熊本地方法務局宇土支局長が感謝状を贈呈。盛武支局長と臨席した光井市長がそれぞれ「市民にとって、たいへん頼りになる方々で、市民を代表して感謝を申し上げます」などと述べ、2人の長年の活動をたたえました。これに対し、2人は「これからも人権について一生懸命勉強してまいります。相談会などの体験から、やはり人権擁護委員はなくてはならぬ存在だと実感しました」と振り返っていました。



市民を魅了した勇壮な御獅子舞

10/19(月) 宇土の御獅子舞、西岡神宮で奉納 勇壮な舞、地震からの復興に元気づけ

県指定重要無形民俗文化財「宇土の御獅子舞」が西岡神宮(神馬町)で奉納されました。例年、この日に行われる「西岡神宮秋季例大祭」は令和8年熊本地震で神事のみが行われ、通常は市内5箇所で披露される御獅子舞も今回は3箇所のみでした。五穀豊穣や地域の平穏などを願って1740(元文5)年に始まったといわれ、太鼓や鉦(かね)の音に合わせ、2人立ちの雌雄の獅子と玉振りの子どもらの勇壮な舞に市民から盛大な拍手が送られました。関係者自身も被災しながら伝統芸能を継承する姿に、復興に向けて多くの皆さんが元気づけられました。



宇土市轟泉簡易水道組合と光井市長（右から2人目）

11/2（月） 360年以上、地域で守り続けてきた水。宇土市轟泉簡易水道組合が表彰されました

現役の上水道施設として国内最古とされる「轟泉水道」を守る宇土市轟泉簡易水道組合が、「肥後の水とみどりの愛護賞」の継続賞を受賞し、光井市長に報告しました。360年以上の歴史を持ち、現在も約60戸の暮らしを支える轟泉水道。組合では、水源清掃や水道管の維持管理、伝統的な補修技術の継承に取り組んでいます。令和8年熊本地震では約23か所で漏水などの被害を受け、現在も復旧作業が続いています。一方、断水時には多い日で1,000人以上が轟水源を訪れ、地域の暮らしを支えました。坂本清一組合長は「これからも地域の皆さんとともに、歴史ある水道を守り続けたい」と話しました。



フラダンスを披露する会員の皆さん

10/29（木） 西部老人福祉センターでクラブ発表会 絵手紙展示やダンス、体操など披露

宇土市西部老人福祉センターで、絵手紙や短歌を展示したり、ダンスや体操などを披露するクラブ発表会がありました。花々や野菜をカラフルに表現した絵手紙や人生の機微を詠んだ短歌作品が並んだほか、舞台では舟木一夫の「高校三年生」に合わせて踊ったり、フラダンスや輪投げが披露され、カラオケで自慢の一曲を歌い上げると、盛大な拍手が送られました。センターには短歌、絵手紙、健康マージャン、カラオケなどのクラブがあり、発表会は日ごろの練習の成果を見てもらおうと毎年開いています。この日も地元の約100人が訪れ、終日にぎわいました。



宇土市役所を出発する消防団の積載車と見送る市消防団幹部

11/9（月） 秋季火災予防運動出発式を開催

宇土市役所正面玄関前駐車場で、秋季火災予防運動出発式が行われました。11月9日から15日までの「令和8年秋季全国火災予防運動」に合わせて行われたもので、火災予防への意識を高め、さらなる啓発活動の強化を誓いました。これからの季節は、暖房器具など火を使う機会が増えます。火災を未然に防ぐため、一人ひとりが火の取り扱いに十分注意し、日頃から防火を心がけましょう。今年の全国統一防火標語は「火の確認　いい日を支える　いい習慣」です。



優勝した鈴木祐子さん（右から2人目）とご家族、光井市長（右）

11/2（月） 全国大会で見事優勝！ 着付けの技術で日本一に輝く

鹿児島県の西原商会アリーナで開催された着付けの全国大会で、宇土市のhair salon CORONA（ヘアサロンコロナ）の鈴木祐子さんが「中振袖着付け部門」で優勝しました。全国から26人が出場した同部門では、制限時間内に振袖を美しく、正確に着付ける技術を競います。鈴木さんは、着物のしわや帯の仕上がりなど、細部まで審査される中、250点満点を獲得し、日本一に輝きました。全国大会に向けて練習を重ねていた矢先、7月28日に熊本地震が発生。思うように練習できない時期もありましたが、福岡県の先生のもとへ泊まりがけで通い、技術を磨き続けました。鈴木さんは「本番では一番よくできたと思います。これからも成人式の着付けやヘアメイクなど、お客様に喜んでいただけるよう技術を提供したい」と笑顔で話しました。



光井市長らと受賞を喜ぶ宇土小音楽部員たち

11/11(水) 宇土小音楽部、金賞＆最優秀賞に 県小学校器楽合奏コン、受賞報告

第68回県小学校器楽合奏コンクール MUSIC FES, competition A部門（玉名市で10月に開催）で金賞と県教育委員会賞（最優秀賞）に輝いた宇土小学校音楽部員らが光井市長を訪ね、受賞報告をしました。「交響曲第35番 ハフナー」（モーツァルト作曲）の練習に励みましたが、今夏の地震で部員の家庭も多くが被災。それでも各自練習を怠りませんでした。部員らは「全員の意気込みを感じました」と振り返り、光井市長は「これまでの練習や経験を宝物にして、今後も頑張ってください」と拍手を送りました。



協定の調印書を手にする石村校長（左）

11/11(水) 宇土高と台湾・国立雲林科技大が協定 理工系の人材育成、多様な進路選択に

県立宇土高校は8月、生徒の進路選択の幅を広げ、キャリアデザイン（将来設計）の充実を図るため、台湾の国立雲林科技大学と連携協定を締結しました。同大学は、世界的な半導体メーカー「TSMC」などとつながりがあり、半導体分野を中心に熊本県の国際的な理工系人材の育成に寄与しています。協定では、人材交流や共同研究などを通じて連携を深めていきます。石村秀一校長は光井市長を訪問し、協定締結を報告。今後の連携について説明しました。光井市長は「市も宇土高校の取り組みを応援してまいります」と話しました。



リングで懸命に拳を交わす選手たちの姿に開城は大きな盛り上がりを見せました

11/15(日) ボクシングの力で、 宇土に元気と笑顔を！

鶴城中学校体育館で、7月28日の熊本地震からの復興を応援するボクシング大会が開催されました。大会を主催したのは、宇土市で「吉田ボクシングジム STYLE TOP」を運営する吉田龍生さんと、熊本市で「AZUL BOX & FIT」を運営する元世界王者の福原辰弥さん。会場では、福原さんと元世界2階級王者・京口紘人さんによるチャリティーマッチのほか、県内外から集まった約110人の選手によるスパーリングやマスボクシングが行われました。リングの上で懸命に拳を交わす選手たちの姿に、会場は大きな盛り上がりを見せました！また、京口さんと元世界王者・亀田大毅さんによるチャリティーサイン会も開催され、サイン会の収益とイベントグッズの売り上げの一部は、宇土市へ義援金として寄付いただく予定です。当初は9月に開催予定だった今大会。地震の影響で延期となりましたが、「ボクシングを通して被災地に元気を届けたい」という思いが、宇土市での開催につながりました。



火災想定現場へ向かって放水する団員

11/15(日) 消防団が 早朝の非常呼集訓練を実施

早朝5時から、市内7地区の各消防分団の火災想定現場で非常呼集訓練が行われました。この訓練は、昼夜を問わず、いつ発生するか分からない火災や災害に備え、消防団員の迅速な参集と災害対応力の向上を目的に実施されたものです。団員たちは早朝から訓練に参加し、万が一の事態に備えて防災意識を高めました。



今年も心のこもった寄付を届けていただいた宮本さん（左）

11/17（火） 行政運営の財源として寄付をいただきました

宇土市出身で東京都在住の宮本光成さんが、市役所を訪れ、市長に寄付金を手渡されました。宮本さんは、毎年本市に寄付を実施されており、いただいた寄付は、活動目的を定めず、広く行政運営の財源として有効に活用させていただきます。誠にありがとうございました。



多彩な企画で交流した高齢者の皆さん

11/15（日） 災害を乗り越え、笑顔あふれる敬老会 網田地区で敬老会を開催

網田コミュニティセンターしとらすで、網田地区振興会女性部主催の敬老会が開催されました。今年は、7月28日の熊本地震の影響で例年より約40日遅い開催を予定していましたが、台風30号の影響でさらに延期に。それでも「こんな時だからこそ、できることを、できるだけ」という思いのもと、準備が進められてきました。敬老会では、長年地域を支えてきた高齢者の皆さんへ感謝と敬意を込めて、「わくわく紅白合戦」や「昭和歌声ひろば」などの催しが企画され、世代を超えた交流の場となりました。

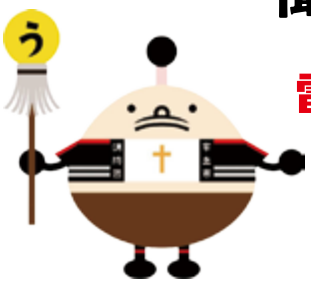
防災行政無線の放送内容 確認できます！

聞き逃したときも安心。以下を切り取って冷蔵庫に貼るなどしてご利用ください。



切り取り線

防災行政無線が聞き取れない場合は



電話：0964-23-6186
（電話応答装置）

こちらから内容をご確認ください

火災情報は宇城広域連合消防本部テレホンサービス
電話：0964-23-3211

宇土市公式 LINE からも確認できます

- 公式 LINE のメニューから「防災」→「防災行政無線」で確認できます。
- 緊急性が高い情報は、メッセージ配信しています

以下の QR コードから登録できます